

令和4年度

鍼灸スポーツ科学科

1年

シラバス

学校法人 健生学園  
東日本医療専門学校

授業科目名	社会科学(コミュニケーションを含む)			授業形態	講義	教員	吉田 理		No.	1
科目区分	基礎分野	単位	4	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生	
授業概要	社会人として必要とされる基本の一つである「教養」について共に学ぶ。 その際、インタラクティブ=ティーチングを導入して学習者の理解を深める。									
授業の到達目標	現代の社会はこれまでの常識が通用せず、かといって諸外国の例も参考にならない非常に生きづらい世と言える。このような時代に於いて、社会人として或いは一個の人間としてどのように生活を送り他者とかかわりながら自己を保っていくべきなのであろうか。本講義では阿部謹也『「教養」とは何か』を基に学生諸君と共に考えながらその答えを探ろうとするものである。									
授業内容・計画	(授業計画) 第1週目 ガイダンス。現代の社会とは何か 第2週目 コミュニケーションについて 第3週目 自己の把握について 第4週目 少子高齢化について 第5週目 少子高齢化について・その2 第6週目 情報化社会について 第7週目 国際化社会について 第8週目 日本古来の教養について 第9週目 宗教について 第10週目 宗教について・その2 第11週目 建前と本音について 第12週目 建前と本音の区別について 第13週目 大人になるとは何か。小テスト 第14週目 前期末試験 第15週目 答案返却・解説。後期授業説明 第16週目 後期ガイダンス…プレゼンテーション 第17週目 プレゼンテーション訓練 第18週目 個人の教養について 第19週目 プレゼン①、孤独について 第20週目 プレゼン②、友情について 第21週目 プレゼン③、恋愛について 第22週目 プレゼン④、防衛機制について 第23週目 プレゼン⑤、源流思想「愛」について 第24週目 プレゼン⑥、教養とは何か 第25週目 プレゼン⑦、茶道と教養 第26週目 プレゼン⑧、葬式と世間 第27週目 プレゼン・補、子供の教育について 第28週目 世間からの自由。小テスト 第29週目 後期末試験 第30週目 答案返却・解説。後期授業説明  (授業の方法および自学学習について) ・板書中心の講義形式を基本とするが、しばしばアクティビティを導入する。 ・他に例のない講義内容となるので休まず集中して臨むこと。 ・後期のプレゼンテーションにおいては、思考力・判断力のほかコミュニケーションを図るうえで不可欠な表現力について学修する。									
教科書・参考書等	阿部謹也『「教養」とは何か』講談社現代新書									
成績評価の方法	出席状況および期末試験の点数で総合的に評価する。なお後期のプレゼンテーション個別発表は単位認定の基礎項目となる。									
実践的教育に関する経歴等	①法人事務長(9年)、②高等学校進路(進学・就職)担当責任者(5年)、③教員採用試験及び公務員採用試験予備校人物対策担当責任者(8年)、④高等学校教諭専修免許状(社会)									

授業科目名	外国語			授業形態	講義	教員	箱島 千賀		No.	2																														
科目区分	基礎分野	単位	4	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生																															
授業概要	<p>高校までに培った英語力を生かして、英語を母国語とする人たちの文化や思想にふれ、国際社会に対応できる英語表現力を養い、あわせて日常英語や医療の現場に必要な英語の基礎を学ぶ。医療英語には難解な単語が多いので、単語の発音を重要視して、テキスト付属のCDにある単語と会話表現をに耳を慣らすよう練習していきましょう。職場ですぐ使える応用力を身につけるため、病院などで遭遇しそうな場面・内容を取り入れたケーススタディーの練習問題を発音・発話練習と共に取り組んでいきましょう。</p>																																							
授業の到達目標	<p>1 基本英文法を定着させ、その知識を日常生活や医療の現場で使うことができる。〈文法力の養成〉                  2 英語リスニングのポイントをふまえて英語発音を聞き取ることができる。〈英語を聞きとる力の養成〉                  3 英語文化圏における日常生活や医療現場でよく使用される語彙や表現を知り、読解を通して知識を高め、英語Communicationに役立てることができる。〈語彙表現力、スピーキング力、読解力、異文化理解の養成〉</p>																																							
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">第1週目 Guidance</td> <td style="width:50%;">第16週目 Lesson 7 Reception Desk 再診受付(1)</td> </tr> <tr> <td>第2週目 Lesson 1 Basic Words and Phrases はじめの一步(1)</td> <td>第17週目 Lesson 7 Reception Desk 再診受付(2)</td> </tr> <tr> <td>第3週目 Lesson 1 Basic Words and Phrases はじめの一步(2)</td> <td>第18週目 Lesson 9 Symptoms and Diseases 症状と病名(1)</td> </tr> <tr> <td>第4週目 Lesson 2 Body Parts and Organs 体と内臓(1)</td> <td>第19週目 Lesson 9 Symptoms and Diseases 症状と病名(2)</td> </tr> <tr> <td>第5週目 Lesson 2 Body Parts and Organs 体と内臓(2)</td> <td>第20週目 Lesson 10 Medical Terminology 医療用語【略語】(1)</td> </tr> <tr> <td>第6週目 Lesson 3 Hospital Registration 新患受付(1)</td> <td>第21週目 Lesson 10 Medical Terminology 医療用語【略語】(2)</td> </tr> <tr> <td>第7週目 Lesson 3 Hospital Registration 新患受付(2)</td> <td>第22週目 Lesson 11 Getting to the Hospital 病院へのアクセス(1)</td> </tr> <tr> <td>第8週目 Review 1-3</td> <td>第23週目 Lesson 11 Getting to the Hospital 病院へのアクセス(2)</td> </tr> <tr> <td>第9週目 Lesson 4 Hospital Registration Forms 診察申込書(1)</td> <td>第24週目 Lesson 12 Finding Your way Around 案内(1)</td> </tr> <tr> <td>第10週目 Lesson 4 Hospital Registration Forms 診察申込書(2)</td> <td>第25週目 Lesson 12 Finding Your way Around 案内(2)</td> </tr> <tr> <td>第11週目 Lesson 5 Personal Information 個人情報(1)</td> <td>第26週目 Lesson 13 At the Cashier's Window 会計(1)</td> </tr> <tr> <td>第12週目 Lesson 5 Personal Information 個人情報(2)</td> <td>第27週目 Lesson 13 At the Cashier's Window 会計(2)</td> </tr> <tr> <td>第13週目 Lesson 6 Admissions 入院受付(1)</td> <td>第28週目 Lesson 14 At the Pharmacy 薬局(1)</td> </tr> <tr> <td>第14週目 Lesson 6 Admissions 入院受付(2)</td> <td>第29週目 Lesson 14 At the Pharmacy 薬局(2)</td> </tr> <tr> <td>第15週目 Review 4-6</td> <td>第30週目 Review 7-14</td> </tr> </table> <p>(授業の方法および自学学習について): 毎回授業の中で、解答や練習成果を発表してもらいます。</p> <p>[授業方法]</p> <p>(1) 授業の中でテキスト音声を繰り返し聞く。                  (2) テキストの演習問題を解きながら、英語表現、文法を学修する。                  (3) 英語Communication力を身につけるために、英語発音・発話を積極的に声を出して練習する。</p> <p>[自主学习について]</p> <p>事前学修: 英語単語・表現の意味を調べましょう。(2) テキストの音声ファイルを聞きましょう。                  事後学修: 授業で行った演習内容を振り返り、声に出して発音・発話練習をしてみましょう。</p>										第1週目 Guidance	第16週目 Lesson 7 Reception Desk 再診受付(1)	第2週目 Lesson 1 Basic Words and Phrases はじめの一步(1)	第17週目 Lesson 7 Reception Desk 再診受付(2)	第3週目 Lesson 1 Basic Words and Phrases はじめの一步(2)	第18週目 Lesson 9 Symptoms and Diseases 症状と病名(1)	第4週目 Lesson 2 Body Parts and Organs 体と内臓(1)	第19週目 Lesson 9 Symptoms and Diseases 症状と病名(2)	第5週目 Lesson 2 Body Parts and Organs 体と内臓(2)	第20週目 Lesson 10 Medical Terminology 医療用語【略語】(1)	第6週目 Lesson 3 Hospital Registration 新患受付(1)	第21週目 Lesson 10 Medical Terminology 医療用語【略語】(2)	第7週目 Lesson 3 Hospital Registration 新患受付(2)	第22週目 Lesson 11 Getting to the Hospital 病院へのアクセス(1)	第8週目 Review 1-3	第23週目 Lesson 11 Getting to the Hospital 病院へのアクセス(2)	第9週目 Lesson 4 Hospital Registration Forms 診察申込書(1)	第24週目 Lesson 12 Finding Your way Around 案内(1)	第10週目 Lesson 4 Hospital Registration Forms 診察申込書(2)	第25週目 Lesson 12 Finding Your way Around 案内(2)	第11週目 Lesson 5 Personal Information 個人情報(1)	第26週目 Lesson 13 At the Cashier's Window 会計(1)	第12週目 Lesson 5 Personal Information 個人情報(2)	第27週目 Lesson 13 At the Cashier's Window 会計(2)	第13週目 Lesson 6 Admissions 入院受付(1)	第28週目 Lesson 14 At the Pharmacy 薬局(1)	第14週目 Lesson 6 Admissions 入院受付(2)	第29週目 Lesson 14 At the Pharmacy 薬局(2)	第15週目 Review 4-6	第30週目 Review 7-14
第1週目 Guidance	第16週目 Lesson 7 Reception Desk 再診受付(1)																																							
第2週目 Lesson 1 Basic Words and Phrases はじめの一步(1)	第17週目 Lesson 7 Reception Desk 再診受付(2)																																							
第3週目 Lesson 1 Basic Words and Phrases はじめの一步(2)	第18週目 Lesson 9 Symptoms and Diseases 症状と病名(1)																																							
第4週目 Lesson 2 Body Parts and Organs 体と内臓(1)	第19週目 Lesson 9 Symptoms and Diseases 症状と病名(2)																																							
第5週目 Lesson 2 Body Parts and Organs 体と内臓(2)	第20週目 Lesson 10 Medical Terminology 医療用語【略語】(1)																																							
第6週目 Lesson 3 Hospital Registration 新患受付(1)	第21週目 Lesson 10 Medical Terminology 医療用語【略語】(2)																																							
第7週目 Lesson 3 Hospital Registration 新患受付(2)	第22週目 Lesson 11 Getting to the Hospital 病院へのアクセス(1)																																							
第8週目 Review 1-3	第23週目 Lesson 11 Getting to the Hospital 病院へのアクセス(2)																																							
第9週目 Lesson 4 Hospital Registration Forms 診察申込書(1)	第24週目 Lesson 12 Finding Your way Around 案内(1)																																							
第10週目 Lesson 4 Hospital Registration Forms 診察申込書(2)	第25週目 Lesson 12 Finding Your way Around 案内(2)																																							
第11週目 Lesson 5 Personal Information 個人情報(1)	第26週目 Lesson 13 At the Cashier's Window 会計(1)																																							
第12週目 Lesson 5 Personal Information 個人情報(2)	第27週目 Lesson 13 At the Cashier's Window 会計(2)																																							
第13週目 Lesson 6 Admissions 入院受付(1)	第28週目 Lesson 14 At the Pharmacy 薬局(1)																																							
第14週目 Lesson 6 Admissions 入院受付(2)	第29週目 Lesson 14 At the Pharmacy 薬局(2)																																							
第15週目 Review 4-6	第30週目 Review 7-14																																							
教科書・参考書等	『Basic English for Medical Office Assistants 医療事務スタッフをめざす人のための医療英語』(南雲堂) ※毎回、電子辞書or英和辞典を持参すること。(必須)																																							
成績評価の方法	<p>(1) 確認テスト各評価の70% : (前期2回)(30+30)60点分 (後期1回)60点分                  (2) 各講義中の取り組み・発表に対して評価します。(半期ごと最終評価の40%(40点分)に相当)                  【(2)の評価ポイント: ①声を出して正確に英語発音できる。②テキストの演習問題に解答できる。③簡単な英語の質問に対して英語で答えられる。④私語や居眠りなどがある場合はマイナス点が発生する。】*欠席の場合、その講義回で上記(2)で得られた点数が「0点」となる。                  上記項目により総合成績が60点以上の場合に単位を認定する(59点以下は不合格となる)。不合格であった場合、学校が行う追試験を受験する(その場合、最高点は60点となる)。また欠席(数)に関する扱いは学校の取り決めに従うものとする。進度について、学生の理解度に合わせ進んでいくため、講義内容が変わる場合も可能性としてあるが、その時は逐次アナウンスする。</p>																																							
実践的教育に関する経歴等	<p>1 東北学院大学非常勤講師現職、宮城学院女子大学非常勤講師現職、                  日本大学工学部非常勤講師現職、石巻赤十字看護専門学校非常勤講師現職                  2 中学校、高等学校教員免許(英語)</p>																																							

授業科目名	人文科学			授業形態	講義	教員	菊池泰子		No.	3
科目区分	基礎分野	単位	2	時間	30	期間	半期(15回)	対象学年	1年生	
授業概要	「ビジネスコミュニケーション入門」									
授業の到達目標	様々な場面における、読む・聞く・話す・書くの4技能を柱に、それらを社会人としての確に実行し、ビジネスパーソンとしての言葉遣いやコミュニケーションスキルを楽しく身につける。									
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <p>第1週目 ビジネスコミュニケーション1                      第2週目 ビジネスコミュニケーション2                      第3週目 ビジネス場面のルール                      第4週目 ビジネスマナー1                      第5週目 ビジネスマナー2                      第6週目 ビジネスマナー3                      第7週目 ビジネスマナー4                      第8週目 ビジネスマナー5                      第9週目 ビジネスマナー6                      第10週目 社外のマナー1                      第11週目 社外のマナー2                      第12週目 社外のマナー3                      第13週目 社外のマナー4                      第14週目 テスト                      第15週目 テストFBとまとめ</p> <p style="text-align: right;">内容は多少変更あり</p> <p>(授業の方法および自学学習について)                      働く人のためのビジネスマナーとルール(日本能率協会マネジメントセンター監修)を参考にしたオリジナルスライド資料を毎回配布・毎回課題アクティビティがあるのでそれに取り組み、提出して課題アクティビティ点とする。</p>									
教科書・参考書等	買うものではありません									
成績評価の方法	テスト70点・出席15点・毎回の課題15点									
実践的教育に関する経歴等	高等学校国語1種免許,日本語教育能力検定試験合格,文化庁「就労者に対する日本語教師養成研修」修了									

授業科目名	解剖学 I			授業形態	講義	教員	神谷 美香		No.	4																														
科目区分	専門基礎分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生																															
授業概要	視診や触診, 取穴の際の指標となる突起部などが理解できる。 筋・骨の個人差を発見できるようになる。 皮膚の下にある臓器の構造をイメージできる。																																							
授業の到達目標	筋・骨の仕組みを学習し, その特徴を理解することができるようになる。																																							
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <table border="0"> <tr> <td>第1週目 ガイダンス, 骨組織</td> <td>第16週目 筋組織, 頭部の筋</td> </tr> <tr> <td>第2週目 骨組織, 人体の区分と方向</td> <td>第17週目 頭部の筋, 頸部の筋</td> </tr> <tr> <td>第3週目 骨の形状, 骨の連結, 関節の種類</td> <td>第18週目 胸部の筋, 腹部の筋</td> </tr> <tr> <td>第4週目 関節運動</td> <td>第19週目 背部の筋</td> </tr> <tr> <td>第5週目 体幹の骨一脊柱, 胸郭</td> <td>第20週目 上肢帯の筋</td> </tr> <tr> <td>第6週目 上肢の骨格一上肢帯, 上腕骨</td> <td>第21週目 上肢帯の筋</td> </tr> <tr> <td>第7週目 前腕の骨, 手指骨</td> <td>第22週目 上腕部の筋</td> </tr> <tr> <td>第8週目 上肢の関節, 下肢の骨格一下肢帯</td> <td>第23週目 前腕屈筋群</td> </tr> <tr> <td>第9週目 大腿骨, 膝蓋骨, 下腿の骨</td> <td>第24週目 前腕伸筋群</td> </tr> <tr> <td>第10週目 足の骨, 下肢の関節</td> <td>第25週目 手内筋, 下肢帯の筋群</td> </tr> <tr> <td>第11週目 頭蓋骨の成り立ち</td> <td>第26週目 下肢帯の筋群+U25:BA26</td> </tr> <tr> <td>第12週目 脳頭蓋をつくる骨</td> <td>第27週目 下腿の筋群</td> </tr> <tr> <td>第13週目 顔面頭蓋をつくる骨</td> <td>第28週目 足内在筋</td> </tr> <tr> <td>第14週目 前期期末試験</td> <td>第29週目 後期期末試験</td> </tr> <tr> <td>第15週目 試験解説, 筋組織</td> <td>第30週目 試験解説</td> </tr> </table> <p>(授業の方法および自学学習について)</p> <p>1)プリント, パワーポイント, 模型を使用し授業を行うことを基本とする。 2)その日の内容は各自復習する。 3)欠席した場合は次回の授業までに配布物を取りに来ること。</p>										第1週目 ガイダンス, 骨組織	第16週目 筋組織, 頭部の筋	第2週目 骨組織, 人体の区分と方向	第17週目 頭部の筋, 頸部の筋	第3週目 骨の形状, 骨の連結, 関節の種類	第18週目 胸部の筋, 腹部の筋	第4週目 関節運動	第19週目 背部の筋	第5週目 体幹の骨一脊柱, 胸郭	第20週目 上肢帯の筋	第6週目 上肢の骨格一上肢帯, 上腕骨	第21週目 上肢帯の筋	第7週目 前腕の骨, 手指骨	第22週目 上腕部の筋	第8週目 上肢の関節, 下肢の骨格一下肢帯	第23週目 前腕屈筋群	第9週目 大腿骨, 膝蓋骨, 下腿の骨	第24週目 前腕伸筋群	第10週目 足の骨, 下肢の関節	第25週目 手内筋, 下肢帯の筋群	第11週目 頭蓋骨の成り立ち	第26週目 下肢帯の筋群+U25:BA26	第12週目 脳頭蓋をつくる骨	第27週目 下腿の筋群	第13週目 顔面頭蓋をつくる骨	第28週目 足内在筋	第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験	第15週目 試験解説, 筋組織	第30週目 試験解説
第1週目 ガイダンス, 骨組織	第16週目 筋組織, 頭部の筋																																							
第2週目 骨組織, 人体の区分と方向	第17週目 頭部の筋, 頸部の筋																																							
第3週目 骨の形状, 骨の連結, 関節の種類	第18週目 胸部の筋, 腹部の筋																																							
第4週目 関節運動	第19週目 背部の筋																																							
第5週目 体幹の骨一脊柱, 胸郭	第20週目 上肢帯の筋																																							
第6週目 上肢の骨格一上肢帯, 上腕骨	第21週目 上肢帯の筋																																							
第7週目 前腕の骨, 手指骨	第22週目 上腕部の筋																																							
第8週目 上肢の関節, 下肢の骨格一下肢帯	第23週目 前腕屈筋群																																							
第9週目 大腿骨, 膝蓋骨, 下腿の骨	第24週目 前腕伸筋群																																							
第10週目 足の骨, 下肢の関節	第25週目 手内筋, 下肢帯の筋群																																							
第11週目 頭蓋骨の成り立ち	第26週目 下肢帯の筋群+U25:BA26																																							
第12週目 脳頭蓋をつくる骨	第27週目 下腿の筋群																																							
第13週目 顔面頭蓋をつくる骨	第28週目 足内在筋																																							
第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験																																							
第15週目 試験解説, 筋組織	第30週目 試験解説																																							
教科書・参考書等	1)参考資料 解剖学 医歯薬出版株式会社 および 配布プリント																																							
成績評価の方法	1)各学期で実施する期末試験の得点。 2)小テスト, 出席状況, 課題提出など。 上記項目から総合的に評価。通年成績が60%以上で単位を認定。 ※欠席した場合は次回の授業までに取りに来ること。 ※遅刻は3回で1回の欠席とする。*感染症などの特別な場合を除く。																																							
実践的教育に関する経歴等	①鍼師・灸師・あん摩マッサージ指圧師 ②鍼灸マッサージ教員免許 ③鍼灸マッサージ院勤務																																							

授業科目名	解剖学Ⅱ			授業形態	講義	教員	大渡 光弘		No.	5																														
科目区分	専門基礎分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生																															
授業概要	解剖学は生体の正常な構造を理解するための学問であり、臨床医学の根幹となる学問である。個々の構造を理解しその知識を統合することにより、生体全体が把握できる。本講義では生体の細胞レベルから器官系までを学んでいく。																																							
授業の到達目標	解剖学の基礎を正確に理解し、各器官の構造を理解する。																																							
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">第1週目 第1章・人体の構成 細胞の構造</td> <td style="width:50%;">第16週目 第4章・消化器系 肝臓、胆嚢</td> </tr> <tr> <td>第2週目 第1章・人体の構成 細胞小器官</td> <td>第17週目 第4章・消化器系 膵臓 腹膜</td> </tr> <tr> <td>第3週目 第1章・人体の構成 組織 上皮組織</td> <td>第18週目 第5章・泌尿器系</td> </tr> <tr> <td>第4週目 第1章・人体の構成 組織 結合組織</td> <td>第19週目 第6章・生殖器系 男性</td> </tr> <tr> <td>第5週目 第1章・人体の構成 組織 結合組織</td> <td>第20週目 第6章・生殖器系 女性</td> </tr> <tr> <td>第6週目 第2章・循環器系 血管系</td> <td>第21週目 第8章・神経系 神経系の構造</td> </tr> <tr> <td>第7週目 第2章・循環器系 心臓 動脈系</td> <td>第22週目 第8章・神経系 中枢神経系</td> </tr> <tr> <td>第8週目 第2章・循環器系 動脈系の手足</td> <td>第23週目 第8章・神経系 中枢神経系</td> </tr> <tr> <td>第9週目 第2章・循環器系 静脈系・リンパ系</td> <td>第24週目 第8章・神経系 末梢神経系</td> </tr> <tr> <td>第10週目 第2章・循環器系 脳 胎児循環</td> <td>第25週目 第8章・神経系・末梢神経系</td> </tr> <tr> <td>第11週目 第3章・呼吸器系</td> <td>第26週目 第9章・感覚器系 視覚器</td> </tr> <tr> <td>第12週目 第4章・消化器系 基礎構造 口腔～食道</td> <td>第27週目 第9章・感覚器系 平衡聴覚器</td> </tr> <tr> <td>第13週目 第4章・消化器系 胃～大腸</td> <td>第28週目 第9章・感覚器系 味覚器、嗅覚器</td> </tr> <tr> <td>第14週目 前期期末試験</td> <td>第29週目 後期期末試験</td> </tr> <tr> <td>第15週目 前期期末試験の解説</td> <td>第30週目 後期期末試験の解説</td> </tr> </table> <p>(授業の方法および自学学習について)</p> <p>主にプリントを配布し、パワーポイントを使用し授業を行う。          各々プリントをもとに教科書を熟読すること。          国家試験の科目でもある為、その都度復習を必ず行うこと。          欠席等での後からプリントの請求は次の授業前までに職員室にて行うこと。          自学自習については、特に大事な部分の「まとめ資料」及び問題集を配付いたします。それを中心に学習してください。</p>										第1週目 第1章・人体の構成 細胞の構造	第16週目 第4章・消化器系 肝臓、胆嚢	第2週目 第1章・人体の構成 細胞小器官	第17週目 第4章・消化器系 膵臓 腹膜	第3週目 第1章・人体の構成 組織 上皮組織	第18週目 第5章・泌尿器系	第4週目 第1章・人体の構成 組織 結合組織	第19週目 第6章・生殖器系 男性	第5週目 第1章・人体の構成 組織 結合組織	第20週目 第6章・生殖器系 女性	第6週目 第2章・循環器系 血管系	第21週目 第8章・神経系 神経系の構造	第7週目 第2章・循環器系 心臓 動脈系	第22週目 第8章・神経系 中枢神経系	第8週目 第2章・循環器系 動脈系の手足	第23週目 第8章・神経系 中枢神経系	第9週目 第2章・循環器系 静脈系・リンパ系	第24週目 第8章・神経系 末梢神経系	第10週目 第2章・循環器系 脳 胎児循環	第25週目 第8章・神経系・末梢神経系	第11週目 第3章・呼吸器系	第26週目 第9章・感覚器系 視覚器	第12週目 第4章・消化器系 基礎構造 口腔～食道	第27週目 第9章・感覚器系 平衡聴覚器	第13週目 第4章・消化器系 胃～大腸	第28週目 第9章・感覚器系 味覚器、嗅覚器	第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験	第15週目 前期期末試験の解説	第30週目 後期期末試験の解説
第1週目 第1章・人体の構成 細胞の構造	第16週目 第4章・消化器系 肝臓、胆嚢																																							
第2週目 第1章・人体の構成 細胞小器官	第17週目 第4章・消化器系 膵臓 腹膜																																							
第3週目 第1章・人体の構成 組織 上皮組織	第18週目 第5章・泌尿器系																																							
第4週目 第1章・人体の構成 組織 結合組織	第19週目 第6章・生殖器系 男性																																							
第5週目 第1章・人体の構成 組織 結合組織	第20週目 第6章・生殖器系 女性																																							
第6週目 第2章・循環器系 血管系	第21週目 第8章・神経系 神経系の構造																																							
第7週目 第2章・循環器系 心臓 動脈系	第22週目 第8章・神経系 中枢神経系																																							
第8週目 第2章・循環器系 動脈系の手足	第23週目 第8章・神経系 中枢神経系																																							
第9週目 第2章・循環器系 静脈系・リンパ系	第24週目 第8章・神経系 末梢神経系																																							
第10週目 第2章・循環器系 脳 胎児循環	第25週目 第8章・神経系・末梢神経系																																							
第11週目 第3章・呼吸器系	第26週目 第9章・感覚器系 視覚器																																							
第12週目 第4章・消化器系 基礎構造 口腔～食道	第27週目 第9章・感覚器系 平衡聴覚器																																							
第13週目 第4章・消化器系 胃～大腸	第28週目 第9章・感覚器系 味覚器、嗅覚器																																							
第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験																																							
第15週目 前期期末試験の解説	第30週目 後期期末試験の解説																																							
教科書・参考書等	医歯薬出版株式会社『解剖学』を使用する。																																							
成績評価の方法	1)各学期で実施する期末試験の得点 2)出席状況 上記項目から総合的に評価し、通年成績が120点以上となった場合のみ単位を認定する。																																							
実践的教育に関する経歴等	整形外科・鍼灸院・接骨院の勤務歴有り。																																							

授業科目名	生理学 I			授業形態	講義	教員	樋口 勝広		No.	6																														
科目区分	専門基礎分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生																															
授業概要	<p>生理学は生体の持つ様々な機能およびその調節機構を理解するための学問であり、臨床医学の根幹となる学問である。個々の機能を理解しその知識を統合することにより、生命現象を論理的に説明でき、生体全体が把握できる。本講義では生体の細胞レベルから器官まで解説し、全身の機能までを結びつけて学んでいく。</p>																																							
授業の到達目標	<p>生理学の基礎を正確に理解し、各器官の正常な機能について理解を深める。</p>																																							
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">第1週目 生理学の基礎 ①</td> <td style="width: 50%;">第16週目 内分泌の生理学 ①</td> </tr> <tr> <td>第2週目 生理学の基礎 ②</td> <td>第17週目 内分泌の生理学 ②</td> </tr> <tr> <td>第3週目 生理学の基礎 ③</td> <td>第18週目 内分泌の生理学 ③</td> </tr> <tr> <td>第4週目 循環の生理学 ①</td> <td>第19週目 内分泌の生理学 ④</td> </tr> <tr> <td>第5週目 循環の生理学 ②</td> <td>第20週目 排尿の生理学 ①</td> </tr> <tr> <td>第6週目 循環の生理学 ③</td> <td>第21週目 排尿の生理学 ②</td> </tr> <tr> <td>第7週目 生体防御について ①</td> <td>第22週目 生殖・成長と老化について ①</td> </tr> <tr> <td>第8週目 生体防御について ②</td> <td>第23週目 生殖・成長と老化について ②</td> </tr> <tr> <td>第9週目 呼吸の生理学について ①</td> <td>第24週目 体温について ①</td> </tr> <tr> <td>第10週目 呼吸の生理学について ②</td> <td>第25週目 体温について ②</td> </tr> <tr> <td>第11週目 消化・吸収の生理学 ①</td> <td>第26週目 代謝の生理学 ①</td> </tr> <tr> <td>第12週目 消化・吸収の生理学 ②</td> <td>第27週目 代謝の生理学 ②</td> </tr> <tr> <td>第13週目 消化・吸収の生理学 ③</td> <td>第28週目 身体活動の協調</td> </tr> <tr> <td>第14週目 前期期末試験</td> <td>第29週目 後期期末試験</td> </tr> <tr> <td>第15週目 試験解説</td> <td>第30週目 総復習</td> </tr> </table> <p>(授業の方法および自学学習について)</p> <p>学習方法:プリントを配布し授業を行う。          欠席等での後からプリントの請求は次の授業前までに職員室にて行うこと。          単位時間内に終わらなかった場合には追加講義を行う。</p>										第1週目 生理学の基礎 ①	第16週目 内分泌の生理学 ①	第2週目 生理学の基礎 ②	第17週目 内分泌の生理学 ②	第3週目 生理学の基礎 ③	第18週目 内分泌の生理学 ③	第4週目 循環の生理学 ①	第19週目 内分泌の生理学 ④	第5週目 循環の生理学 ②	第20週目 排尿の生理学 ①	第6週目 循環の生理学 ③	第21週目 排尿の生理学 ②	第7週目 生体防御について ①	第22週目 生殖・成長と老化について ①	第8週目 生体防御について ②	第23週目 生殖・成長と老化について ②	第9週目 呼吸の生理学について ①	第24週目 体温について ①	第10週目 呼吸の生理学について ②	第25週目 体温について ②	第11週目 消化・吸収の生理学 ①	第26週目 代謝の生理学 ①	第12週目 消化・吸収の生理学 ②	第27週目 代謝の生理学 ②	第13週目 消化・吸収の生理学 ③	第28週目 身体活動の協調	第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験	第15週目 試験解説	第30週目 総復習
第1週目 生理学の基礎 ①	第16週目 内分泌の生理学 ①																																							
第2週目 生理学の基礎 ②	第17週目 内分泌の生理学 ②																																							
第3週目 生理学の基礎 ③	第18週目 内分泌の生理学 ③																																							
第4週目 循環の生理学 ①	第19週目 内分泌の生理学 ④																																							
第5週目 循環の生理学 ②	第20週目 排尿の生理学 ①																																							
第6週目 循環の生理学 ③	第21週目 排尿の生理学 ②																																							
第7週目 生体防御について ①	第22週目 生殖・成長と老化について ①																																							
第8週目 生体防御について ②	第23週目 生殖・成長と老化について ②																																							
第9週目 呼吸の生理学について ①	第24週目 体温について ①																																							
第10週目 呼吸の生理学について ②	第25週目 体温について ②																																							
第11週目 消化・吸収の生理学 ①	第26週目 代謝の生理学 ①																																							
第12週目 消化・吸収の生理学 ②	第27週目 代謝の生理学 ②																																							
第13週目 消化・吸収の生理学 ③	第28週目 身体活動の協調																																							
第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験																																							
第15週目 試験解説	第30週目 総復習																																							
教科書・参考書等	<p>医歯薬出版株式会社『生理学』を使用する。</p>																																							
成績評価の方法	<p>1) 期末試験の得点                  2) 授業態度、出席状況および提出課題の内容                  上記項目から総合的に評価し、通年成績が120点以上となった場合のみ単位を認定する。</p>																																							
実践的教育に関する経歴等	<p>鍼灸整骨院の勤務歴あり。</p>																																							

授業科目名	生理学Ⅱ			授業形態	講義	教員	鈴木 亮太		No.	7																														
科目区分	専門基礎分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生																															
授業概要	<p>生理学は生体の持つ様々な機能およびその調節機構を理解するための学問であり、臨床医学の根幹となる学問である。個々の機能を理解しその知識を統合することにより、生命現象を論理的に説明でき、生体全体が把握できる。本講義では生体の細胞レベルから器官まで解説し、全身の機能までを結びつけて学んでいく。</p>																																							
授業の到達目標	<p>生理学の基礎を正確に理解し、各器官の正常な機能について理解を深める。</p>																																							
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">第1週目 第10章 神経 ニューロンの働き</td> <td style="width:50%;">第16週目 第12章 運動 運動単位・受容器</td> </tr> <tr> <td>第2週目 第10章 神経 活動電位</td> <td>第17週目 第12章 運動 反射</td> </tr> <tr> <td>第3週目 第10章 神経 中枢神経について</td> <td>第18週目 第12章 運動 錐体路・錐体外路①</td> </tr> <tr> <td>第4週目 第10章 神経 中枢神経(大脳)</td> <td>第19週目 第12章 運動 錐体路・錐体外路②</td> </tr> <tr> <td>第5週目 第10章 神経 中枢神経(脳幹)</td> <td>第20週目 第12章 運動 発声・言語</td> </tr> <tr> <td>第6週目 第10章 神経 中枢神経(小脳・脊髄)</td> <td>第21週目 第13章 感覚 感覚の分類</td> </tr> <tr> <td>第7週目 第10章 神経 末梢神経について</td> <td>第22週目 第13章 感覚 体性感覚・内臓感覚</td> </tr> <tr> <td>第8週目 第10章 神経 末梢神経(脳神経)</td> <td>第23週目 第13章 感覚 痛覚</td> </tr> <tr> <td>第9週目 第10章 神経 自律神経の働き①</td> <td>第24週目 第13章 感覚 感覚の伝導路</td> </tr> <tr> <td>第10週目 第10章 神経 自律神経の働き②</td> <td>第25週目 第13章 感覚 特殊感覚(味覚・嗅覚)</td> </tr> <tr> <td>第11週目 第11章 筋 筋の種類と特徴①</td> <td>第26週目 第13章 感覚 特殊感覚(聴覚)</td> </tr> <tr> <td>第12週目 第11章 筋 筋の種類と特徴②</td> <td>第27週目 第13章 感覚 特殊感覚(平衡感覚)</td> </tr> <tr> <td>第13週目 第11章 筋 筋の収縮・弛緩</td> <td>第28週目 第13章 感覚 特殊感覚(視覚)</td> </tr> <tr> <td>第14週目 前期期末試験</td> <td>第29週目 後期期末試験</td> </tr> <tr> <td>第15週目 期末試験の解答・解説</td> <td>第30週目 総復習</td> </tr> </table> <p>(授業の方法および自学学習について)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習方法:主にプリントを配布し、教室で授業を行う。</li> <li>2) 欠席により授業の配布資料を受け取れなかった場合、次の授業開始前までに、担当教員に資料を受け取りに行くこと。</li> <li>3) 各授業で必要に応じて確認テストを行う。欠席等で受けられなかった場合は、後日、担当教員から用紙を受け取り、問題を解いて担当教員からの確認を受けること。</li> </ol>										第1週目 第10章 神経 ニューロンの働き	第16週目 第12章 運動 運動単位・受容器	第2週目 第10章 神経 活動電位	第17週目 第12章 運動 反射	第3週目 第10章 神経 中枢神経について	第18週目 第12章 運動 錐体路・錐体外路①	第4週目 第10章 神経 中枢神経(大脳)	第19週目 第12章 運動 錐体路・錐体外路②	第5週目 第10章 神経 中枢神経(脳幹)	第20週目 第12章 運動 発声・言語	第6週目 第10章 神経 中枢神経(小脳・脊髄)	第21週目 第13章 感覚 感覚の分類	第7週目 第10章 神経 末梢神経について	第22週目 第13章 感覚 体性感覚・内臓感覚	第8週目 第10章 神経 末梢神経(脳神経)	第23週目 第13章 感覚 痛覚	第9週目 第10章 神経 自律神経の働き①	第24週目 第13章 感覚 感覚の伝導路	第10週目 第10章 神経 自律神経の働き②	第25週目 第13章 感覚 特殊感覚(味覚・嗅覚)	第11週目 第11章 筋 筋の種類と特徴①	第26週目 第13章 感覚 特殊感覚(聴覚)	第12週目 第11章 筋 筋の種類と特徴②	第27週目 第13章 感覚 特殊感覚(平衡感覚)	第13週目 第11章 筋 筋の収縮・弛緩	第28週目 第13章 感覚 特殊感覚(視覚)	第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験	第15週目 期末試験の解答・解説	第30週目 総復習
第1週目 第10章 神経 ニューロンの働き	第16週目 第12章 運動 運動単位・受容器																																							
第2週目 第10章 神経 活動電位	第17週目 第12章 運動 反射																																							
第3週目 第10章 神経 中枢神経について	第18週目 第12章 運動 錐体路・錐体外路①																																							
第4週目 第10章 神経 中枢神経(大脳)	第19週目 第12章 運動 錐体路・錐体外路②																																							
第5週目 第10章 神経 中枢神経(脳幹)	第20週目 第12章 運動 発声・言語																																							
第6週目 第10章 神経 中枢神経(小脳・脊髄)	第21週目 第13章 感覚 感覚の分類																																							
第7週目 第10章 神経 末梢神経について	第22週目 第13章 感覚 体性感覚・内臓感覚																																							
第8週目 第10章 神経 末梢神経(脳神経)	第23週目 第13章 感覚 痛覚																																							
第9週目 第10章 神経 自律神経の働き①	第24週目 第13章 感覚 感覚の伝導路																																							
第10週目 第10章 神経 自律神経の働き②	第25週目 第13章 感覚 特殊感覚(味覚・嗅覚)																																							
第11週目 第11章 筋 筋の種類と特徴①	第26週目 第13章 感覚 特殊感覚(聴覚)																																							
第12週目 第11章 筋 筋の種類と特徴②	第27週目 第13章 感覚 特殊感覚(平衡感覚)																																							
第13週目 第11章 筋 筋の収縮・弛緩	第28週目 第13章 感覚 特殊感覚(視覚)																																							
第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験																																							
第15週目 期末試験の解答・解説	第30週目 総復習																																							
教科書・参考書等	<p>教科書: 医歯薬出版株式会社『生理学』を使用する。</p>																																							
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 期末試験の得点。</li> <li>2. 授業態度及び出席状況内容。</li> </ol> <p>上記項目から総合的に評価し、通年成績が120点以上になった場合のみ単位を認定する。          ※なお、確認テストの提出および担当教員からの合格が得られない場合は、2点減点としその都度、期末試験から減点する。</p>																																							
実践的教育に関する経歴等	<p>鍼灸整骨院の勤務歴あり。</p>																																							



鍼灸スポーツ科学科

授業科目名	はりきゅう理論 I			授業形態	講義	教員	神谷 美香・善積 紗英子		No.	8
科目区分	専門分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生	
授業概要	鍼・灸の道具の構造, 使い方を理解できる。 ドーズオーバーや実際に体調が悪くなった時の対処方など, 臨床応用を学ぶ。 医療人としてのリスク管理の基礎を学ぶ。 生体に対するの各種刺激の基礎を学ぶ。									
授業の到達目標	鍼灸師として知っておくべき道具の知識とリスク管理について総合的に学ぶ。 刺激の種類に対応する伝導路と反射についての基礎を総合的に学ぶ。									
授業内容・計画	(授業計画) 第1週目 ガイダンス, 鍼灸施術の意義・特徴 第2週目 鍼の基礎知識—用具, 古代九鍼 第3週目 刺鍼の方式と術式 第4週目 特殊鍼法 第5週目 灸の基礎知識—灸の材料, 線香 第6週目 灸の種類—有痕灸, 無痕灸 第7週目 鍼灸の臨床応用—刺激量, 感受性 第8週目 鍼灸療法の適応症 第9週目 鍼灸療法の禁忌 第10週目 リスク管理—リスク管理の基本 第11週目 鍼療法の過誤と副作用 第12週目 灸療法の過誤と副作用 第13週目 感染症対策 第14週目 前期期末試験 第15週目 試験解説 第16週目 刺激の種類と受容器① 第17週目 刺激の種類と受容器② 第18週目 感覚受容器と神経線維 第19週目 感覚の伝導路 第20週目 デルマトームと関連痛 第21週目 痛みの悪循環 第22週目 体性反射① 第23週目 体性反射② 第24週目 内臓の反射 第25週目 熱傷① 第26週目 熱傷② 第27週目 体表反応 第28週目 後期まとめ 第29週目 後期期末試験 第30週目 後期試験の解説  (授業の方法および自学学習について) 1)プリント, パワーポイント, 配布プリント, 鍼灸道具各種を使用し授業を行うことを基本とする。 2)その日の内容は各自復習する。 3)欠席した場合は次回の授業までに配布物を取りに来ること。 4)日直は授業前に準備するものがないか職員室まで確認に来ること。									
教科書・参考書等	はりきゅう理論「医歯薬出版株式会社」 および 配布プリント									
成績評価の方法	1)各学期で実施する期末試験の得点。 2)小テストの得点。 3)出席状況および課題提出など。 上記項目から総合的に評価。通年成績が60%以上で単位を認定。									
実践的教育に関する経歴等	鍼灸接骨院の勤務歴あり。									

授業科目名	東洋医学概論 I			授業形態	講義	教員	善積 紗英子		No.	9																														
科目区分	専門分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生																															
授業概要	東洋医学の思想、生理、病理の基本を学習する。																																							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東洋医学的思想の特徴が理解できる。</li> <li>・気血津液、臓腑の生理が理解できる。</li> <li>・東洋医学的な病の成因、症状の基本が理解できる。</li> </ul>																																							
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <table border="0"> <tr> <td>第1週目 陰陽学説</td> <td>第16週目 気血津液弁証復習・蔵象学説の概要</td> </tr> <tr> <td>第2週目 五行学説</td> <td>第17週目 蔵象学説①肝系統</td> </tr> <tr> <td>第3週目 五行色体表について</td> <td>第18週目 蔵象学説②心系統</td> </tr> <tr> <td>第4週目 八綱と四診の概要①</td> <td>第19週目 蔵象学説③脾系統</td> </tr> <tr> <td>第5週目 八綱と四診の概要②</td> <td>第20週目 蔵象学説④肺系統</td> </tr> <tr> <td>第6週目 精と気の生理・病理</td> <td>第21週目 蔵象学説⑤腎系統</td> </tr> <tr> <td>第7週目 血と津液の生理・病理</td> <td>第22週目 臓腑の生理のまとめ①</td> </tr> <tr> <td>第8週目 神と陰陽の生理・病理</td> <td>第23週目 臓腑の生理のまとめ②</td> </tr> <tr> <td>第9週目 病因</td> <td>第24週目 臓腑の生理のまとめ③</td> </tr> <tr> <td>第10週目 気血津液弁証①</td> <td>第25週目 臓腑の生理のまとめ④</td> </tr> <tr> <td>第11週目 気血津液弁証②</td> <td>第26週目 古代九鍼・九刺</td> </tr> <tr> <td>第12週目 気血津液弁証③</td> <td>第27週目 五刺・三刺</td> </tr> <tr> <td>第13週目 前期まとめ</td> <td>第28週目 総まとめ</td> </tr> <tr> <td>第14週目 前期期末試験</td> <td>第29週目 後期期末試験</td> </tr> <tr> <td>第15週目 前期期末試験解説</td> <td>第30週目 後期期末試験解説</td> </tr> </table> <p>(授業の方法および自学学習について)</p> <p>主に資料を配布し、授業を行う。          国家試験科目に該当するため、配付資料と教科書をどちらも熟読し、各授業ごとに必ず復習すること。          欠席により授業の配付資料を受け取れなかった場合、次の授業日の授業開始前の朝、職員室にて担当教員に請求すること。</p>										第1週目 陰陽学説	第16週目 気血津液弁証復習・蔵象学説の概要	第2週目 五行学説	第17週目 蔵象学説①肝系統	第3週目 五行色体表について	第18週目 蔵象学説②心系統	第4週目 八綱と四診の概要①	第19週目 蔵象学説③脾系統	第5週目 八綱と四診の概要②	第20週目 蔵象学説④肺系統	第6週目 精と気の生理・病理	第21週目 蔵象学説⑤腎系統	第7週目 血と津液の生理・病理	第22週目 臓腑の生理のまとめ①	第8週目 神と陰陽の生理・病理	第23週目 臓腑の生理のまとめ②	第9週目 病因	第24週目 臓腑の生理のまとめ③	第10週目 気血津液弁証①	第25週目 臓腑の生理のまとめ④	第11週目 気血津液弁証②	第26週目 古代九鍼・九刺	第12週目 気血津液弁証③	第27週目 五刺・三刺	第13週目 前期まとめ	第28週目 総まとめ	第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験	第15週目 前期期末試験解説	第30週目 後期期末試験解説
第1週目 陰陽学説	第16週目 気血津液弁証復習・蔵象学説の概要																																							
第2週目 五行学説	第17週目 蔵象学説①肝系統																																							
第3週目 五行色体表について	第18週目 蔵象学説②心系統																																							
第4週目 八綱と四診の概要①	第19週目 蔵象学説③脾系統																																							
第5週目 八綱と四診の概要②	第20週目 蔵象学説④肺系統																																							
第6週目 精と気の生理・病理	第21週目 蔵象学説⑤腎系統																																							
第7週目 血と津液の生理・病理	第22週目 臓腑の生理のまとめ①																																							
第8週目 神と陰陽の生理・病理	第23週目 臓腑の生理のまとめ②																																							
第9週目 病因	第24週目 臓腑の生理のまとめ③																																							
第10週目 気血津液弁証①	第25週目 臓腑の生理のまとめ④																																							
第11週目 気血津液弁証②	第26週目 古代九鍼・九刺																																							
第12週目 気血津液弁証③	第27週目 五刺・三刺																																							
第13週目 前期まとめ	第28週目 総まとめ																																							
第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験																																							
第15週目 前期期末試験解説	第30週目 後期期末試験解説																																							
教科書・参考書等	医道の日本社の『新版東洋医学概論』を使用する。																																							
成績評価の方法	1)各学期で実施する期末試験の得点 2)小テストの得点 小テストは60%以上を合格とし、60%以下の場合は小テストの再試験を受け、合格すること。 各期末試験までに合格しない場合は小テスト1回分につき1点の減点とする。 3)課題の提出状況 各期末試験までに課題が未提出の場合は1つにつき1点の減点とする。 上記項目から総合的に評価し、通年成績が120点以上になった場合のみ単位を認定する。																																							
実践的教育に関する経歴等	鍼灸整骨院の勤務歴あり。																																							

授業科目名	経絡経穴概論 I			授業形態	講義	教員	善積 紗英子		No.	10																														
科目区分	専門分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生																															
授業概要	経穴の位置、経穴の名の意味、正経十二経脈・奇経八脈の流注、奇穴の位置と主治、要穴について学習する。																																							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・361穴と奇穴の名称と取穴位置が分かる。</li> <li>・正経十二経脈と奇経八脈の流注が分かる。</li> <li>・要穴表を書くことができる。</li> </ul>																																							
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <table border="0"> <tr> <td>第1週目 経絡経穴総論</td> <td>第16週目 頭部の経穴</td> </tr> <tr> <td>第2週目 前腕の経穴(陰経)</td> <td>第17週目 要穴について①</td> </tr> <tr> <td>第3週目 前腕の経穴(陽経)</td> <td>第18週目 要穴について②</td> </tr> <tr> <td>第4週目 下腿の経穴(陰経)</td> <td>第19週目 要穴について③</td> </tr> <tr> <td>第5週目 下腿の経穴(陽経)</td> <td>第20週目 配穴について</td> </tr> <tr> <td>第6週目 上腕・大腿の経穴</td> <td>第21週目 流注 肺経・大腸経・胃経</td> </tr> <tr> <td>第7週目 腰殿部の経穴</td> <td>第22週目 流注 脾経・心経・小腸経</td> </tr> <tr> <td>第8週目 背部・肩甲部の経穴</td> <td>第23週目 流注 膀胱経・腎経・心包経</td> </tr> <tr> <td>第9週目 腹部の経穴</td> <td>第24週目 流注 三焦経・胆経・肝経</td> </tr> <tr> <td>第10週目 胸部の経穴</td> <td>第25週目 奇経八脈</td> </tr> <tr> <td>第11週目 頸部の経穴</td> <td>第26週目 奇穴</td> </tr> <tr> <td>第12週目 顔面部の経穴</td> <td>第27週目 経筋・皮部・経絡現象</td> </tr> <tr> <td>第13週目 前期まとめ</td> <td>第28週目 総まとめ</td> </tr> <tr> <td>第14週目 前期期末試験</td> <td>第29週目 後期期末試験</td> </tr> <tr> <td>第15週目 前期期末試験の解説</td> <td>第30週目 後期期末試験の解説</td> </tr> </table> <p>(授業の方法および自学学習について)</p> <p>主に資料を配布し、授業を行う。          国家試験科目に該当するため、配付資料と教科書をどちらも熟読し、各授業ごとに必ず復習すること。          欠席により授業の配付資料を受け取れなかった場合、次の授業日の授業開始前の朝、職員室にて担当教員に請求すること。</p>										第1週目 経絡経穴総論	第16週目 頭部の経穴	第2週目 前腕の経穴(陰経)	第17週目 要穴について①	第3週目 前腕の経穴(陽経)	第18週目 要穴について②	第4週目 下腿の経穴(陰経)	第19週目 要穴について③	第5週目 下腿の経穴(陽経)	第20週目 配穴について	第6週目 上腕・大腿の経穴	第21週目 流注 肺経・大腸経・胃経	第7週目 腰殿部の経穴	第22週目 流注 脾経・心経・小腸経	第8週目 背部・肩甲部の経穴	第23週目 流注 膀胱経・腎経・心包経	第9週目 腹部の経穴	第24週目 流注 三焦経・胆経・肝経	第10週目 胸部の経穴	第25週目 奇経八脈	第11週目 頸部の経穴	第26週目 奇穴	第12週目 顔面部の経穴	第27週目 経筋・皮部・経絡現象	第13週目 前期まとめ	第28週目 総まとめ	第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験	第15週目 前期期末試験の解説	第30週目 後期期末試験の解説
第1週目 経絡経穴総論	第16週目 頭部の経穴																																							
第2週目 前腕の経穴(陰経)	第17週目 要穴について①																																							
第3週目 前腕の経穴(陽経)	第18週目 要穴について②																																							
第4週目 下腿の経穴(陰経)	第19週目 要穴について③																																							
第5週目 下腿の経穴(陽経)	第20週目 配穴について																																							
第6週目 上腕・大腿の経穴	第21週目 流注 肺経・大腸経・胃経																																							
第7週目 腰殿部の経穴	第22週目 流注 脾経・心経・小腸経																																							
第8週目 背部・肩甲部の経穴	第23週目 流注 膀胱経・腎経・心包経																																							
第9週目 腹部の経穴	第24週目 流注 三焦経・胆経・肝経																																							
第10週目 胸部の経穴	第25週目 奇経八脈																																							
第11週目 頸部の経穴	第26週目 奇穴																																							
第12週目 顔面部の経穴	第27週目 経筋・皮部・経絡現象																																							
第13週目 前期まとめ	第28週目 総まとめ																																							
第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験																																							
第15週目 前期期末試験の解説	第30週目 後期期末試験の解説																																							
教科書・参考書等	医道の日本社の『経絡経穴概論』を使用する。																																							
成績評価の方法	1)各学期で実施する期末試験の得点 2)小テストの得点 小テストは60%以上を合格とし、60%以下の場合は小テストの再試験を受け、合格すること。 各期末試験までに合格しない場合は小テスト1回分につき1点の減点とする。 3)課題の提出状況 各期末試験までに課題が未提出の場合は1つにつき1点の減点とする。 上記項目から総合的に評価し、通年成績が120点以上になった場合のみ単位を認定する。																																							
実践的教育に関する経歴等	鍼灸接骨院の勤務歴あり。																																							

授業科目名	臨床はりきゅう学 I			授業形態	講義	教員	善積 紗英子		No.	11																														
科目区分	専門分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生																															
授業概要	361穴、奇穴、要穴を人体で取穴ができるように学習する。																																							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部位の取穴方法について実技を通して理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①前腕、②上腕、③下腿、④大腿、⑤手部、⑥足部、⑦腰殿部、⑧肩背部、⑨腹部、⑩頸部、⑪頭部、⑫顔面部</li> </ul> </li> <li>要穴に対して適切な取穴を行い、素早く正確に取穴を行うことができる。</li> </ul>																																							
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <table border="0"> <tr> <td>第1週目 骨度法について</td> <td>第16週目 前腕・下腿の取穴</td> </tr> <tr> <td>第2週目 前腕の取穴(陰経)</td> <td>第17週目 腰部の取穴</td> </tr> <tr> <td>第3週目 前腕の取穴(陽経)</td> <td>第18週目 背部の取穴①</td> </tr> <tr> <td>第4週目 前腕の取穴(陰経・陽経)</td> <td>第19週目 背部の取穴②</td> </tr> <tr> <td>第5週目 下腿の取穴(陰経)</td> <td>第20週目 上腹部の取穴</td> </tr> <tr> <td>第6週目 下腿の取穴(陽経)</td> <td>第21週目 下腹部の取穴</td> </tr> <tr> <td>第7週目 下腿の取穴(陰経・陽経)</td> <td>第22週目 胸部の取穴</td> </tr> <tr> <td>第8週目 上腕の取穴</td> <td>第23週目 要穴への取穴</td> </tr> <tr> <td>第9週目 大腿の取穴</td> <td>第24週目 頸部の取穴</td> </tr> <tr> <td>第10週目 腰部の取穴①</td> <td>第25週目 顔面部の取穴</td> </tr> <tr> <td>第11週目 腰部の取穴②</td> <td>第26週目 頭部の取穴</td> </tr> <tr> <td>第12週目 前期実技試験(模擬試験)</td> <td>第27週目 奇穴の取穴</td> </tr> <tr> <td>第13週目 前期実技試験</td> <td>第28週目 後期実技試験</td> </tr> <tr> <td>第14週目 前期実技試験</td> <td>第29週目 後期実技試験</td> </tr> <tr> <td>第15週目 前期まとめ</td> <td>第30週目 総まとめ</td> </tr> </table> <p>(授業の方法および自学学習について)</p> <p>主に資料を配布し授業を行う。      国家試験科目に該当するため、配付資料と教科書をどちらも熟読し、各授業ごとに必ず取穴実技の復習をすること。      欠席により授業の配付資料を受け取れなかった場合、次の授業日の授業開始前の朝、職員室にて担当教員に請求すること。</p>										第1週目 骨度法について	第16週目 前腕・下腿の取穴	第2週目 前腕の取穴(陰経)	第17週目 腰部の取穴	第3週目 前腕の取穴(陽経)	第18週目 背部の取穴①	第4週目 前腕の取穴(陰経・陽経)	第19週目 背部の取穴②	第5週目 下腿の取穴(陰経)	第20週目 上腹部の取穴	第6週目 下腿の取穴(陽経)	第21週目 下腹部の取穴	第7週目 下腿の取穴(陰経・陽経)	第22週目 胸部の取穴	第8週目 上腕の取穴	第23週目 要穴への取穴	第9週目 大腿の取穴	第24週目 頸部の取穴	第10週目 腰部の取穴①	第25週目 顔面部の取穴	第11週目 腰部の取穴②	第26週目 頭部の取穴	第12週目 前期実技試験(模擬試験)	第27週目 奇穴の取穴	第13週目 前期実技試験	第28週目 後期実技試験	第14週目 前期実技試験	第29週目 後期実技試験	第15週目 前期まとめ	第30週目 総まとめ
第1週目 骨度法について	第16週目 前腕・下腿の取穴																																							
第2週目 前腕の取穴(陰経)	第17週目 腰部の取穴																																							
第3週目 前腕の取穴(陽経)	第18週目 背部の取穴①																																							
第4週目 前腕の取穴(陰経・陽経)	第19週目 背部の取穴②																																							
第5週目 下腿の取穴(陰経)	第20週目 上腹部の取穴																																							
第6週目 下腿の取穴(陽経)	第21週目 下腹部の取穴																																							
第7週目 下腿の取穴(陰経・陽経)	第22週目 胸部の取穴																																							
第8週目 上腕の取穴	第23週目 要穴への取穴																																							
第9週目 大腿の取穴	第24週目 頸部の取穴																																							
第10週目 腰部の取穴①	第25週目 顔面部の取穴																																							
第11週目 腰部の取穴②	第26週目 頭部の取穴																																							
第12週目 前期実技試験(模擬試験)	第27週目 奇穴の取穴																																							
第13週目 前期実技試験	第28週目 後期実技試験																																							
第14週目 前期実技試験	第29週目 後期実技試験																																							
第15週目 前期まとめ	第30週目 総まとめ																																							
教科書・参考書等	主に医道の日本社の『経絡経穴学』を使用する。																																							
成績評価の方法	1)各学期で実施する期末試験(実技試験)の得点 2)出席状況 本授業は実技中心のため、出席状況を重視する。 遅刻1回につき2点、欠席1回につき4点、実技試験の得点から減点とする。  上記項目から総合的に評価し、通年成績が120点以上になった場合のみ単位を認定する。																																							
実践的教育に関する経歴等	鍼灸接骨院の勤務歴あり。																																							

授業科目名	基礎はりきゅう実技 I			授業形態	講義	教員	鈴木 亮太		No.	12
科目区分	専門分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生	
授業概要	施術者の心得、鍼に関する基礎知識と基本的手技を学習し、臨床に必要な基礎技術を身につける。施術を安全かつ正確に行うための能力と技術を養う。									
授業の到達目標	1. 鍼の基本操作について学習する。 2. 施術上の注意について学習する。 3. 身体各部位への刺鍼について学習する。									
授業内容・計画	(授業計画) 第1週目 鍼に関する基礎知識 第2週目 基本手技(挿管法) 第3週目 基本手技(挿管法) 第4週目 基本刺鍼(鍼枕での練習)直刺 第5週目 基本刺鍼(鍼枕での練習)直刺 第6週目 基本刺鍼(鍼枕での練習)直・斜・横刺 第7週目 基本手技(挿管法) 第8週目 基本手技(挿管法)※確認テスト 第9週目 基本刺鍼(鍼枕での練習)直・斜・横刺 第10週目 基本刺鍼(鍼枕での練習)直・斜・横刺 第11週目 基本刺鍼(鍼枕での練習)直・斜・横刺 第12週目 前期期末実技練習① 第13週目 前期期末実技練習② 第14週目 前期期末試験 第15週目 前期の総復習 第16週目 施術上の諸注意・消毒法 第17週目 下腿への刺鍼① 第18週目 下腿への刺鍼② 第19週目 腰部への刺鍼① 第20週目 腰部への刺鍼② 第21週目 腰部への刺鍼③ 第22週目 腹部への刺鍼① 第23週目 腹部への刺鍼② 第24週目 上肢への刺鍼① 第25週目 上肢への刺鍼② 第26週目 後期期末試験 模擬練習① 第27週目 後期期末試験 模擬練習② 第28週目 実技試験① 第29週目 実技試験② 第30週目 1年の総復習  (授業の方法および自学学習について) 主に教科書・配布資料により、授業を行う。 鍼灸師として治療を行うための基礎になるため、配付資料と教科書を熟読し、各授業の前後に実技の練習・復習等をするを勧める。 欠席により授業の配付資料を受け取れなかった場合、次の授業開始前までに、担当教員に資料を受け取りに行くこと。									
教科書・参考書等	教科書: 医道の日本社『はりきゅう実技<基礎編>』を使用する。									
成績評価の方法	1)各学期で実施する期末試験(実技試験を中心とするが、筆記試験を行う場合がある。)の得点 2)出席状況 本授業は実技中心のため、出席状況を重視する。忌引きなど学校が認める場合を除き、欠席は2点、遅刻は1点、その都度、期末試験結果から減点する。 3)講義中に確認テストを行う。確認テストの結果が合格点に達しない場合、次の期末試験前までに合格すること。合格できなかった場合は期末試験の結果から5点減点するので注意すること。									
実践的教育に関する経歴等	鍼灸整骨院の勤務歴あり。									

鍼灸スポーツ科学科

授業科目名	基礎はりきゅう実技Ⅱ		授業形態	講義	教員	樋口 勝広		No.	13
科目区分	専門分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生
授業概要	1. 繰り返しの反復練習を繰り返すことによって経験を積み重ね技術を習得していく。 2. 様々な種類のきゅう法を学び、臨床応用につなげる。								
授業の到達目標	きゅう法の基礎的な技術を身につけ、臨床につながる手法を学ぶ。								
授業内容・計画	(授業計画) 第1週目 「お灸とは」オリエンテーション 灸のひねり①米粒大 第2週目 灸のひねり練習(竹の上5壮均等に並べることが出来るまで練習) 第3週目 灸ひねり 竹の上 10壮/3分 (米粒大)形・大きさ・高さ・向き 第4週目 灸ひねり 半米粒大5壮 きれいに竹の上でたたされるまで練習 第5週目 灸ひねり 半米粒大10壮/3分 線香の使い方→点火 5壮点火練習 第6週目 竹の上 10壮/3分 紙の上10壮/5分 連続点火 穴あきなし 第7週目 紙の上10壮/3分 連続10壮 穴あきなし 点灸 練習 第8週目 自分の足三里に点灸 緩和法の種類 ・八分灸・叩打法 連続10壮/3分灸 穴あきなし 継続 第9週目 失眠・片方・焼き切り・連続灸の練習 紙で10壮/3分 穴あきなし練習 第10週目 失眠 両足 焼き切り 紙で連続10壮/3分点灸 穴あきなし1個あき 第11週目 灸ひねり練習 20壮/3分 腎俞、相互施灸(交互) 第12週目 灸ひねり練習 20壮/3分 足三里、三陰交に施灸 第13週目 灸ひねり練習 20壮/3分 百会施灸 三陰交・足三里(交互) 第14週目 前期期末試験 ・20壮以上/3分 穴あきなし ・失眠交互施灸:15壮/3分 第15週目 前期期末試験 講評・解説 ・腎俞・大腸俞 ・交互施灸・上下 第16週目 灸ひねり練習20壮/3分 中腕・関元・足三里に施灸 第17週目 灸ひねり練習20壮/3分 棒灸① 胃の六つ灸 第18週目 灸ひねり練習20~30壮/3分 知熱灸① 第19週目 灸ひねり練習30壮/3分 知熱灸② 第20週目 灸ひねり練習 30壮/3分 塩灸 第21週目 隔物灸 ・にんにく灸・生姜灸 30壮/3分 穴あきなし 40壮~/5分 練習 第22週目 糸状灸① 30壮/3分 穴あきなし 40壮~/5分 練習 第23週目 糸状灸②井穴 30壮/3分 40壮~/5分 練習 穴あきなし 第24週目 背部俞穴への施灸(肝・脾・膈の俞) 透熱灸・糸状灸 第25週目 温灸・棒灸 第26週目 灸頭鍼① 刺鍼器→自分の血海か梁丘 30壮/5分・40壮/5分 練習 第27週目 灸頭鍼② 相互・腎俞・大腸俞 30壮/3分 40壮/5分練習 第28週目 総まとめ 第29週目 後期期末試験 第30週目 後期期末試験の総評 背部俞穴取穴+透熱灸練習 (授業の方法および自学学習について) ・習得速度は個人差があるが、焦らず、コツコツと練習すること。 ・毎日艾をひねることが望ましい。 ・毎回タイムトライアルを行う。規定時間内に規定数をすえることができるまで行う。								
教科書・参考書等	医道の日本社『はりきゅう実技<基礎編>』を使用する。								
成績評価の方法	1. 出席状況 2. 前期・後期の期末試験の結果 3. 夏季冬季休暇の課題の提出 4. 成績不良者に対する追加課題の提出等 総合的に見て評価を行う								
実践的教育に関する経歴等	鍼灸整骨院の勤務歴あり。								

授業科目名	基礎はりきゅう実技Ⅲ			授業形態	講義	教員	南洞 大有		No.	14
科目区分	専門分野	単位	2	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生	
授業概要	1. 施術上の注意について学習する。 2. 鍼灸の基本操作について学習する。 3. 身体各部位への刺鍼について学習する。									
授業の到達目標	鍼灸に関する基礎知識を学習し、臨床に必要な基礎技術を身につける。施術を安全かつ正確に行うための能力と技術を養う。									
授業内容・計画	(授業計画) 第1週目 手指の運動 第2週目 手指の運動 第3週目 手指の運動 第4週目 鍼灸の基礎知識 第5週目 鍼の種類と術式 灸術の種類 第6週目 鍼の種類と術式 灸術の種類 第7週目 古代九鍼(鍔鍼・員鍼・鑿鍼) 第8週目 鍼枕への撚鍼法 竹への灸(半米粒大) 第9週目 鍼枕への撚鍼法 竹への灸(半米粒大) 第10週目 十七手技 竹への灸(半米粒大) 第11週目 十七手技 竹への灸(半米粒大) 第12週目 十七手技 紙への灸(半米粒大) 第13週目 十七手技 紙への灸(半米粒大) 第14週目 前期期末試験 第15週目 円皮鍼と皮内鍼 第16週目 セルフ鍼灸 鍼は百会・曲池 灸は湧泉 第17週目 セルフ鍼灸 鍼は百会・曲池 灸は湧泉 第18週目 下合穴への鍼灸① 第19週目 下合穴への鍼灸② 第20週目 下合穴への鍼灸③ 第21週目 下合穴への鍼灸④ 第22週目 四総穴への鍼灸① 第23週目 四総穴への鍼灸② 第24週目 四総穴への鍼灸③ 第25週目 四総穴への鍼灸④ 第26週目 腰部への鍼灸① 腎俞・大腸俞・志室 第27週目 腰部への鍼灸② 腎俞・大腸俞・志室 第28週目 腰部への鍼灸③ 腎俞・大腸俞・志室 第29週目 後期期末試験 第30週目 鍼枕への長鍼(3寸)									
	(授業の方法および自学学習について) (1)本講義は実技のため、開始時間までに実習室2に白衣着用で集合する事。 (2)生徒同士で鍼灸を行うので、患者役に白衣内はタンクトップと短パンを着用の事。 (3)基礎はりきゅう実技Ⅰ、基礎はりきゅう実技Ⅱの復習を行う。									
教科書・参考書等	医道の日本社『はりきゅう実技<基礎編>』を使用する。									
成績評価の方法	1)期末試験の得点。 2)出席状況。 上記項目から総合的評価して通年評価が120点以上を合格とする。									
実践的教育に関する経歴等	鍼灸接骨院に勤務歴あり、鍼灸接骨院の開業歴あり。									

授業科目名	ストレンクス&コンディショニング		授業形態	講義	教員	早坂 ひとみ		No.	15
科目区分	選択必修科目	単位	2	時間	30	期間	半期(15回)	対象学年	1年生
授業概要	科学的根拠に基づいてトレーニングプログラムの作成法、指導法を知識を理解し実践できる。トレーニング指導者に必要な基本的な知識を理解する。								
授業の到達目標	科学的根拠に基づき、スポーツ種目や選手の特性に応じたトレーニング計画をたてるために必要な理論と実践力を養う。								
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <p>第1週目 トレーニング計画の立案</p> <p>第2週目 運動生理(骨格筋系)</p> <p>第3週目 運動生理(エネルギー代謝、呼吸循環系)</p> <p>第4週目 筋力向上トレーニング</p> <p>第5週目 筋力向上トレーニング 実技</p> <p>第6週目 パワー向上トレーニング</p> <p>第7週目 持久力向上トレーニング(有酸素性、無酸素性)</p> <p>第8週目 スタビライゼーション:理論、実技</p> <p>第9週目 ウォーミングアップとクーリングダウン</p> <p>第10週目 柔軟性向上トレーニング:理論、実技</p> <p>第11週目 運動と栄養</p> <p>第12週目 運動と医学(整形外科的傷害と予防、生活習慣病予防、子供、高齢者)</p> <p>第13週目 運動と心理</p> <p>第14週目 テスト</p> <p>第15週目 解答</p> <p>(授業の方法および自学学習について)</p> <p>授業で学習する内容に関して予習をする。          各種トレーニングは、理論をよく理解し、実際にトレーニング実技ができるよう学習する。          ※講義進行中にテーピングやトレーニング法などの実技を取り入れて実施する場合もあるので、動きやすい服装で参加すること。</p>								
教科書・参考書等	トレーニング指導者テキスト 理論編・改訂版 トレーニング指導者テキスト 実践編・改訂版 トレーニング指導者テキスト 実技編・改訂版 及び、配布資料								
成績評価の方法	期末テストで60点以上を合格とする								
実践的教育に関する経歴等	①柔道整復師、②接骨院開設、③JATI-AATI、④NSCA-CPT、⑤日本赤十字社救急法指導員 ⑥高校レスリング部トレーナー、⑦高校男子バスケットボール部トレーナー、⑧山形県国体チームトレーナー								



授業科目名	トレーニング科学			授業形態	講義	教員	大津正久		No.	16																														
科目区分	選択必修	単位	4	時間	60	期間	通年(30回)	対象学年	1年生																															
授業概要	機能解剖学や運動生理学、身体運動学などの基礎的知識を学習する。 各種トレーニングを実技によって学習する。																																							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的分野を統合し、身体活動による変化を学習し、現場に活かす。</li> <li>・各種トレーニング法を学びストレングストレーナーとしての知識を深める。</li> </ul>																																							
授業内容・計画	<p>(授業計画)</p> <table border="0"> <tr> <td>第1週目 トレーニング科学とは</td> <td>第16週目 運動生理学(内分泌系)</td> </tr> <tr> <td>第2週目 体力学とは</td> <td>第17週目 運動生理学(神経系)</td> </tr> <tr> <td>第3週目 機能解剖学(骨、関節、筋)</td> <td>第18週目 運動生理学(神経系)</td> </tr> <tr> <td>第4週目 機能解剖学(骨、関節、筋)</td> <td>第19週目 運動生理学(骨格筋系)</td> </tr> <tr> <td>第5週目 機能解剖学(骨、関節、筋)</td> <td>第20週目 運動生理学(骨格筋系)</td> </tr> <tr> <td>第6週目 機能解剖学(骨、関節、筋)</td> <td>第21週目 運動生理学(骨格筋系)</td> </tr> <tr> <td>第7週目 機能解剖学(骨、関節、筋)</td> <td>第22週目 バイオニクス(てこの作用含む)</td> </tr> <tr> <td>第8週目 機能解剖学(骨、関節、筋)</td> <td>第23週目 バイオニクス(てこの作用含む)</td> </tr> <tr> <td>第9週目 運動生理学(循環器系)</td> <td>第24週目 パワー向上トレーニング</td> </tr> <tr> <td>第10週目 運動生理学(循環器系)</td> <td>第25週目 スピード向上トレーニング</td> </tr> <tr> <td>第11週目 運動生理学(呼吸器系)</td> <td>第26週目 有酸素性持久カトレーニング、無酸素性持久カトレーニング</td> </tr> <tr> <td>第12週目 運動生理学(呼吸器系)</td> <td>第27週目 ウォームアップとクールダウン、柔軟性向上トレーニング(ストレッチ)</td> </tr> <tr> <td>第13週目 運動生理学(エネルギー代謝)</td> <td>第28週目 柔軟性向上トレーニング(ストレッチ)</td> </tr> <tr> <td>第14週目 前期期末試験</td> <td>第29週目 後期期末試験</td> </tr> <tr> <td>第15週目 前期期末試験解説</td> <td>第30週目 後期期末試験解説</td> </tr> </table> <p>(授業の方法および自学学習について) 黒板の板書を中心に進行する。</p>										第1週目 トレーニング科学とは	第16週目 運動生理学(内分泌系)	第2週目 体力学とは	第17週目 運動生理学(神経系)	第3週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第18週目 運動生理学(神経系)	第4週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第19週目 運動生理学(骨格筋系)	第5週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第20週目 運動生理学(骨格筋系)	第6週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第21週目 運動生理学(骨格筋系)	第7週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第22週目 バイオニクス(てこの作用含む)	第8週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第23週目 バイオニクス(てこの作用含む)	第9週目 運動生理学(循環器系)	第24週目 パワー向上トレーニング	第10週目 運動生理学(循環器系)	第25週目 スピード向上トレーニング	第11週目 運動生理学(呼吸器系)	第26週目 有酸素性持久カトレーニング、無酸素性持久カトレーニング	第12週目 運動生理学(呼吸器系)	第27週目 ウォームアップとクールダウン、柔軟性向上トレーニング(ストレッチ)	第13週目 運動生理学(エネルギー代謝)	第28週目 柔軟性向上トレーニング(ストレッチ)	第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験	第15週目 前期期末試験解説	第30週目 後期期末試験解説
第1週目 トレーニング科学とは	第16週目 運動生理学(内分泌系)																																							
第2週目 体力学とは	第17週目 運動生理学(神経系)																																							
第3週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第18週目 運動生理学(神経系)																																							
第4週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第19週目 運動生理学(骨格筋系)																																							
第5週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第20週目 運動生理学(骨格筋系)																																							
第6週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第21週目 運動生理学(骨格筋系)																																							
第7週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第22週目 バイオニクス(てこの作用含む)																																							
第8週目 機能解剖学(骨、関節、筋)	第23週目 バイオニクス(てこの作用含む)																																							
第9週目 運動生理学(循環器系)	第24週目 パワー向上トレーニング																																							
第10週目 運動生理学(循環器系)	第25週目 スピード向上トレーニング																																							
第11週目 運動生理学(呼吸器系)	第26週目 有酸素性持久カトレーニング、無酸素性持久カトレーニング																																							
第12週目 運動生理学(呼吸器系)	第27週目 ウォームアップとクールダウン、柔軟性向上トレーニング(ストレッチ)																																							
第13週目 運動生理学(エネルギー代謝)	第28週目 柔軟性向上トレーニング(ストレッチ)																																							
第14週目 前期期末試験	第29週目 後期期末試験																																							
第15週目 前期期末試験解説	第30週目 後期期末試験解説																																							
教科書・参考書等																																								
成績評価の方法	期末試験(年2回)、出席状態、授業状態により総合的に判定する。																																							
実践的教育に関する経歴等	①スポーツ系専門学校勤務32年 ②整形外科(運動療法)勤務21年 ③近畿大学講師19年 ④東北大学アメフト部 トレーニングコーチ21年																																							